



長小近くに放課後児童会増設



杉森 賢二 議員

Q

将来を見据えた子育てに必要な整備を

A

子育てしやすい環境づくりを進めていく

将来に向けた少子化対策

問 放課後児童会の待機児童の現状と対策は。

教育部長 南小、北小校区の待機児童が56人発生している。子ども・子育て支援事業計画を前倒し、施設の増設に向け適地の確保に努める。

問 認可外保育所の関わり
の現状と今後は。
こども育成課長 認可保育所に入所できない場合、認可外保育所を利用する保護者に利用料を補助している。保育を必要とする子どもが、希望する認可保育所に入所できるよう保育環境整備に努める。

問 人口減少傾向にある20代が活躍できる就労場の提供が必要では。
産業振興課長 町で取り組む官民連携複合施設「フレスポ長泉」の整備や、策定中の立地適正化計画や商工会で取り組む「中心市街地活性化事業」調査を受け、若年世代の増加も見込めるよう

な、おしゃれで魅力的な企業や店舗の誘致に努めたい。

問 ワーク・ライフ・バランスの取り組みを。
総務部長 子育て支援や社会保障の基盤を強化し、多様な個人が能力を発揮できる活力ある社会づくりに取り組むたい。

Q

コミュニティバスの実証運転を

A

30年度に協議が整い次第実施したい

便利なコミュニティバスの運行実現を

問 清水町の商業施設で、清水町内循環バスとの地域連携の考えは。
企画財政課長 共同運行していた事業だったが、18年から単独運行となった経緯もあり、改めて可能性を検討したい。

問 100円で町のどこへでも行けるような、複数ルートの計画は。
課長 コミュニティバス再編検討調査を行い、質問の複数ルートとの関係も併せて検討したい。

課長 バス運行全般でノウハウのある民間企業との連携や委託業務が可能となれば高い効果が期待でき、持続可能な公共交通の確保にもつながるため、調査研究したい。

課長 一般タクシーや定時路線バスとの競合、児童生徒の通学路線という課題もある。29年度にコミュニティバス再編検討調査の中で、シャトルバスの運行も合わせて検討したい。

問 バス運行の計画から運営まで民間企業と進めたい考えは。
問 北部地域と中心市街地を結ぶ、便利なシャトルバス運行の考えは。

問 北部地域と中心市街地を結ぶ、便利なシャトルバス運行の考えは。